



難病診療と教育・研究を通じた健康格差の是正と持続可能な医療の実現

医学部 教授 一瀬 邦弘

医学部内科学講座膠原病・リウマチ内科学では、島根県という中山間地域において、全身性エリテマトーデスや関節リウマチなどの難病診療を通じ、地域医療の充実と健康格差の是正に貢献している。令和6年度は、リウマチ・膠原病疾患における診療の均てん化を目指し、地域医師との連携強化、遠隔医療相談の活用、医学生・研修医への教育を推進した。また、老化・免疫・難病をテーマとした研究活動において、腎疾患や自己免疫疾患の病態解明・治療法開発を通じて、持続可能な医療体制の構築を目指している。さらに、多施設共同研究や患者レジストリの整備を通じた臨床研究も展開し、教育・研究・診療が連動する形で社会貢献を果たしている。加えて、若手人材の育成や女性医師のキャリア支援にも注力しており、地域社会と双方向の連携を築くことで、多様性と包摂性のある医療環境づくりを進めている。

